

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	茅ヶ崎ひかり			
○保護者評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 10月 15日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28	(回答者数)	20
○従業者評価実施期間	2024年 10月 1日		～	2024年 10月 15日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	8
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 10月 22日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用者が安心して過ごせる環境。	特性や相性によって利用者を分けて、安心して過ごせる場所を提供している。	利用者の状態は日々変化するので、変化に気づくために、日々の状況をよく観察して記録を残して共有し、環境整備に努める。
2	個別課題に積極的に取り組み、「できた」という言葉や表情が見られること。	利用者一人ひとりに合わせて個別課題を用意し、提供している。個別課題は、できだできないに関わらず、タイミングよく褒めて自己肯定感を上げられるようにしている。課題が難しい場合には、スモールステップで考えたり、苦手意識が強い場合には、まずできることから少しずつ進めている。	利用者一人ひとりの課題の把握をより丁寧に行い、職員間で連携して支援を行う。
3	職員の中には言語聴覚士、社会福祉士、保育士、心理担当職員、教員免許など幅広い資格を持たれている方が多い。	専門的な知識を活かせるように、会議やミーティングで話し合いを行い、現場で連携を図っている。	職員のスキルアップのために、外部研修などにも積極的に参加し、知識の向上を図る。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化。	築年数が長いので、壁や床の耐久性が弱く、壊れやすい。	今後補強を行うことも検討する。
2	ドライバーが少ない。	運転できるスタッフが少ない。免許を持っているが運転することに消極的な方もいる。	ドライバーを増やす。運転の練習をする。
3	学校や他施設との連携。	話せる機会が少ない。	SNSなどを積極的に使って情報の発信を行い、相手側から興味を持ってもらえるように取り組む。送迎時などに積極的に話しかけたり、保護者の方を通して関係性を築く。